

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 7 5 回相模原市廃棄物減量等推進審議会				
事務局 (担当課)		資源循環部廃棄物政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 3 3 6 (直通)				
開催日時		平成 2 8 年 1 1 月 1 6 日 (水) 1 4 時 0 0 分 ~ 1 5 時 1 5 分				
開催場所		市役所第 2 別館第 3 委員会室				
出席者	委員	1 4 人 (別紙のとおり)				
	その他	- 人				
	事務局	1 5 人 (資源循環部長、廃棄物政策課長他 1 3 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 ( 1 ) 相模原市一般廃棄物処理基本計画 平成 2 7 年度の取組状況について (報告) ( 2 ) (仮称) 相模原市麻溝台リサイクルスクエアの設置 (案) について (報告) 3 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は会長の発言、 は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開会

### 2 議題

- ( 1 ) 相模原市一般廃棄物処理基本計画 平成 2 7 年度の取組状況について、事務局から説明を行った。

相模原市災害廃棄物等処理マニュアルについては、公開しているのか。

内部資料のため、公開はしていない。

9 「ごみと資源の出し方講座の開催」について、平成 2 6 年度の開催は麻溝台中学校と相模女子大で開催されていたが、平成 2 7 年度も同様か。

中学校については、来庁した生徒に講座を行った。

各開催場所については、確認後お知らせする。

2 0 「新相模原市環境マネジメントシステムによる取組の推進」について、職員の取組を市民へ積極的に知らせてほしい。どのように広報しているのか。

市全体の取組として環境政策課がとりまとめており、周知方法等については、確認後お知らせする。

4 6 「学校給食残さの資源化」について、徹底した分別というのはどのように行っているのか。資源化された飼料はどこで使われているのか。

給食残さについては市内の飼料化施設へ搬出しており、家畜の飼料になっている。分別方法と飼料の提供先については確認後お知らせする。

小学校では、児童が牛乳をストロー、紙パック、残さに分けている。

その他の残さについては、まとめて給食室へ戻している。

確認事項については、会議結果の報告と一緒に補足資料として全委員に提供されたい。

( 補足資料は別紙のとおり )

58 「使用済小型電子機器等の資源化」について、小型家電に含まれている使用可能な金属は相模原市で集められたものも東京オリンピックのメダルの原料になるのか。原料になるのであれば、それをPRすることで市民が関心を持つのではないか。

市では、使用済小型電子機器等を国の認定事業者へ引き渡すところまで行っているため、再利用先については把握していない。メダルの原料となることが確認できれば周知につなげていきたい。

65 「収集回数や収集方式の見直し」について、資源の収集に関する問い合わせ件数について教えていただきたい。また、収集回数の見直しによって経費削減を図ったと思うが、以前よりもごみの積み残しが散見される。何度も収集に来ることは非効率ではないか。

資源に限ったお問い合わせの件数については把握していないが、10月に臨時収集に行った件数については、資源が31件、容器包装プラが47件である。

ごみ・資源集積場所1箇所当たりの収集量は増えている。過積載にならないよう収集しているため、ある程度の量になれば別の車が収集することもある。収集回数の変更から1ヶ月経過し、ルートの見直しを行っているところであるが、臨時で収集を行うことは今後も想定される。

70 「発電、蒸気供給による有効活用」について、売電先の事業者が倒産することは前もって分からなかったのか。事前に対応することはできなかったのか。平成27年11月までは全額支払いがあった。

請求書、督促状、契約解除予告通知という形で、法律上必要な順番で手続きをとっている。未払いが発生してから最短で契約解除に至ったと認識している。

現在、裁判所により選任された破産管財人のもとで破産手続が行われている。一般競争入札によって当該事業者と契約しており、入札参加登録に当たっては県及び本市において事業者の審査を行っているが、事前の経営状況等の把握は困難であると考えます。

当該事業者と契約したのはいつか。

平成27年4月1日である。

73「次期一般廃棄物最終処分場整備事業」について、新たな候補地の選定等の状況を教えてほしい。

現在、埋立を行っている第二期整備地については平成43年度まで使用する計画であったが、埋立量が計画よりも少なくなっているため、数年延びるものと考えている。次期最終処分場の候補地については未定である。

31「有機性資源活用事業」について、ダンボールコンポスト講習会の参加者が実際に継続しているか追跡調査等は実施しているか。

追跡調査については検討が必要なため、今後の参考意見とする。

(2)(仮称)相模原市立麻溝台リサイクルスクエアの設置(案)について、事務局から説明を行った。

その他、内山委員から「一般ごみ収集回数の週2回開始」について、リサイクルフェアで行ったアンケート調査の結果が報告された。

最後に、事務局から審議会の次回開催について報告した。

次回の審議会については、来年3月頃に開催する。

#### 4 閉会

## 相模原市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		欠席
2	五十嵐 道夫	相模原商工会議所	職務代理者	出席
3	池田 珠三子	相模原市消費者団体連絡会		欠席
4	内山 尚美	公募		出席
5	河本 博	相模原市廃棄物減量等代表推進員		出席
6	菅野 泰男	相模原市子ども会育成連絡協議会		出席
7	小清水 忠雄	相模原市農業協同組合		欠席
8	小松 秀一	相模原廃棄物対策協議会		欠席
9	三田 明弘	麻布大学		出席
10	高橋 達見	公募		出席
11	田所 昌訓	相模原市自治会連合会	会長	出席
12	中田 暁子	公募		出席
13	中田 恭子	青山学院大学		欠席
14	成井 マユミ	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
15	根本 敏子	相模原商工会議所		出席
16	原 正弘	神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会		出席
17	本田 泰章	津久井地域不法投棄防止協議会		出席
18	三須 城太郎	相模原地域連合		欠席
19	山本 奈美	公募		出席
20	若林 幸子	相模原市立小中学校長会		出席

## 補足資料

・「ごみと資源の出し方」講座の開催場所について（P12）

中学校：1回（大野台中学校）

大学：4回（青山学院大学：2回、麻布大学：1回、北里大学：1回）

・「新相模原市環境マネジメントシステムによる取組の推進」について（P16）

当該事業の所管課である環境政策課が毎年度作成している『相模原市地球温暖化対策実行計画実施状況報告書』中の42ページ「資源・エネルギーの有効活用」で主な取組としてホームページ等で公開している。委員の意見については、所管課にお伝えした。

・「学校給食残さの資源化」について（P28）

残さの分別は各小学校の調理室、給食センターで行っており、飼料に適さない魚のあら、貝殻、卵の殻や香辛料を多く含むものを選び分けている。

市内民間事業者が豚の飼料に加工し、契約している養豚農家に提供している。